

# 会 議 録

## 1 会議名

平成26年度第1回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報告（公開）

ア 避難所の再編成について

イ 中郷ひばり荘について

### （2）協議（公開）

ア 自主審議事項について

### （3）その他（公開）

## 3 開催日時

平成26年4月16日（水）午後6時30分から午後8時24分まで

## 4 開催場所

中郷区総合事務所 3階 第4会議室

## 5 傍聴人の数

—

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：岡田豊、岡田雅範、岡田龍一、坂田浪平、高橋達也、竹内昭彦、竹内朗、竹内靖彦、古海博康、山内敏夫、山崎清、山崎新一、横山一政、陸川昇一
- ・ 事 務 局：宮崎所長、小嶋次長、梨本市民生活・福祉グループ長、総務・地域振興グループ 山崎班長、城戸班長、岩澤主任

（会議録では、総務・地域振興グループ→総務G、市民生活・福祉グループ→市民G、教育・文化グループ→教育G、グループ長→G長と省略しています。）

## 8 発言の内容

### 【城戸班長】

ご案内した時間になりましたので、ただいまから平成26年度第1回中郷区地域協議会を開会します。それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

始めに、岡田会長からご挨拶をお願いします。

**【岡田(豊)会長】**

4月の人事異動で次長が所長に、小嶋G長が次長になりました。城戸さんが地域協議会の担当になりました。今年1年頑張っていたいただきたいと思います。また、我々も事務局に負けないように頑張っていきたいと思います。

**【城戸班長】**

本日の出席者は14名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。同条例第8条第1項によりまして、会長が議長になることに規定されていますので、これ以降の進行については、岡田会長からよろしくをお願いします。

**【岡田(豊)会長】**

本日の会議録の確認ですが、岡田雅範委員と、岡田龍一委員をお願いします。それでは、最初に報告事項の1、避難所の再編成について、事務局の方から説明をお願いします。

**【小嶋次長】**

(資料により説明)

**【岡田(豊)会長】**

資料に基づいて次長から説明がありました。この後、町内会長さん等に説明して意見を求め、7月頃には、その意見が地域協議会にフィードバックされてくるということですが、資料をご覧になって、皆さんが感じられている点や質問をお願いしたいと思います。

古海委員さんどうぞ。

**【古海委員】**

現状では、それぞれの避難所に職員が配置されていると思いますが、スケジュールを見ると8月中に切り替えることになっています。その間は、現状のとおり職員が配置されているか、教えてもらいたい。

**【小嶋次長】**

今現在、中郷区に21か所、全体で328か所に決められた職員の配置は、既に決まっています。その打ち合わせも異動関係もあるので、新たな場所への配置の職員に

については、近々、説明会の開催を予定しています。全体的には、職員の欠員が生じています。本来3名の配置が必要と思われる施設に2名しかいない施設も相当数あります。

【古海委員】

8月中旬の切り替えまでに、空白がないという解釈で良いですか。

【小嶋次長】

はい。

【岡田(豊)会長】

はい。他にいかがですか。竹内委員。

【竹内(靖)委員】

高齢者に対する避難所の設備が不十分ではないか。総合体育館の急な階段を避難所として使うのは、どうか。設備面でエレベータの設置計画もない。今年度については、トイレとトレーニングコースの改修の実施設計に400万円かかる。もう少し避難所としての機能を果たすため、場所的に高齢者が多いと思われるので、その辺の配慮が必要なのかなと思います。そうでなければ、対応職員を何名確保しているか、その分の職務的なリスクもかかるでしょうし、ボランティア体制とか自主防災組織の管理体制を強化をしていかないと、今のままでは、避難所として機能がどうかと思います。

エレベータの復活ができればしてもらいたい。施設の改善も必要ではないでしょうか。

【岡田(豊)会長】

事務局でどうですか。

【小嶋次長】

エレベータの設置や設備の改修も考えていく必要があるのではないかという意見です。担当主管課の方と協議することがありますので伝えたいと思います。この場で、私のほうで、その方向で進めますというわけにはいきませんので、ご理解をお願いします。

【岡田(豊)会長】

はい。他にいかがですか。岡田龍一委員。

【岡田(龍)委員】

7か所になりますが、現在使用しているところが多いですが、旧岡沢小学校だけ使

用していません。緊急の場合に、点検しているのでしょうか。万が一の場合に対応できるのか、その状況をお聞かせ願いたい。

**【小嶋次長】**

概ね、避難者について、市では全体住民の10%として括んでいる。災害等の種類や規模によりましては、旧岡沢小学校が一番近くても、避難生活が長期的になる場合は、生活がしやすい所に移ってもらうことの見極めも必要と考えています。改めて、各施設の定期的な点検は必要と思います。こういう点もご意見があったと伝えます。

**【岡田(豊)会長】**

はい。他にいかがですか。

**【高橋副会長】**

4番(2)の協力体制の③(2)の文章ですが、「指定緊急避難所は地域の自主防災組織を中心とした開設とし、市の応援の要請があったときなどに職員を派遣する。」これは、主体となるのは、あくまで市であり、一時的な形で自主防災組織が開設する。その後速やかに市が主体となって本来は運営するであろうと思いますので、この辺の文書は書き変えないと誤解を招きます。産建グループが統合し、本実施に移ったこの月に逃げ口実という捉え方をしたと感じました。この文書は逆ではないかと思いますので、もう一度検討をしていただきたい。

指定個所が7か所になることは問題ないですが、むしろ、自主防災組織は町内会単位で運営されていますので、前からある集会所などに一時的に集まって、7か所に移動する方が、本来の姿でないか。個々別々に町内会の纏まりがなく行ってしまっ、避難所で誰がいらないか分からない、もしかすると集会所にいるのではないかと等ならないように、一時緊急避難というような捉え方もあるのではないかと感じています。これから町内会単位の説明をすることなので、どういう返答があるか分かりませんが、確かに耐震の問題もありますが、あくまでも一時という捉え方も一つの方法ではないかと感じています。

もう一点ですが、中郷区で大雨による土砂災害の危険性がどこなのか、区民の人が知っていることが大事ではないかなと感じていました。

**【小嶋次長】**

今、ご意見や指摘等を戴いた点につきましては、私どもも似たような感じ方もしておりまして、町内会長会議の前に、所管課のほうに行って、その辺の詳細を打ち合わ

せさせていただきますという事を、今日申し入れをさせていただいたところです。今、いただいた意見も合わせて、申し伝えて協議したいと思います。ありがとうございました。

**【岡田(豊)会長】**

いろいろご意見をいただいております。他にいかがですか。

全部、夜間無人になる施設ばかりです。中郷でどのように利用するのかというと、多分、大雨の洪水の時とか、噴火だとか、柏崎原発がボンした時とか、そんな時しかないと思います。その時に職員がすぐ駆けつけられないとなると、どこの町内会が主体になって、まず鍵を開けるのか、その鍵を預けるのか、ということもあるので、町内会長さんと、どこの自主防が中心となるのか、よく話し合ってもらいたいと思います。

**【小嶋次長】**

はい、ありがとうございました。

**【岡田(豊)会長】**

皆さんの方はいかがですか。

よろしいですか。

それでは、(2)中郷ひばり荘について、お願いします。

**【梨本市民G長】**

資料はありませんが、ひばり荘の施設整備について新年度がスタートしたので、募集関係と解体工事について、簡単に説明させていただきます。まず、募集要項を説明させていただきます。既に皆様に募集要項を配布させていただいているところです。

4月1日付けで市のホームページに募集要項を掲載させていただき、募集を開始させていただいています。

昨日の午後1時30分から公募の説明会および現地見学会を実施させていただいたところですが、説明会には2事業者の参加がありました。今後の選定のスケジュールですが、応募の登録申請の受付締切りが5月9日になっておりますし、事業計画書の提出の締切りが6月の13日、選定委員会が7月上旬でございますし、整備事業者の決定公表は7月の中旬を予定しています。その後、決定事業者の間で、覚書の締結協議を行いまして、最終的に8月末に覚書の締結をして、業者が最終的に決まることとなります。

また、地域の皆さんの要望は、地域協議会要望反映事項ということで、載せさせていただきます。これは、7項目になりますが、運営にかかる諸条件ということで、募集要項に盛り込ましてもらっています。

そのほかに、駐車場については30台以上の駐車場のスペースをとる、施設開設後は12年間の事業を継続することが整備にかかる諸条件ということで反映させてもらっています。募集要項につきましては、以上でございます。

次に、解体工事ですが、入札執行状況は、4月8日に制限付き一般競争入札で、市のホームページと業界の新聞に掲載させていただいています。木田庁舎の契約課の閲覧場所にも掲載させていただいています。入札の受付が4月18日から4月22日までになっております。入札の開札日が4月23日になります。入札により落札候補者を決定いたしまして、入札参加資格要件を審査した後、落札者が決定する形になります。工期は120日でございます。23日になれば業者が決定しますので、決定次第ご報告させていただきたいと思っています。以上です。

#### 【岡田(豊)会長】

皆さんの方に、事前に募集要項が配布されていると思いますし、昨日、応募者について説明会があり、2事業所の方で説明会に来られたということで、1歩1歩前進をしております。募集要項の中には、我々がこの間求めてきた内容が入っていると思いますが、正式に、事業者が決まった段階で、一部見直すことが可能だと思いますので、皆さんのほうから、募集要項等についてご意見があったら、お願いしたいと思います。

#### 【古海委員】

募集要項の物件調書の土地の関係で教えてもらいたい。土地の譲渡予定価格ですが2,043万円ということで、坪に直しますと、坪10,577円ということで、感覚的に半値くらいかなという気がするのですが、不動産鑑定士を入れたのだろうけれど、安すぎるのではないかなというのが1点、③の貸付条件のところですが、貸付予定価格が、1㎡年230円ですが、土地は売却するけれど、更に、貸付金額をもらうことは、どのように理解したらよいのでしょうか。

#### 【梨本市民G長】

ここにも書いてあるように、不動産鑑定価格ということで、不動産鑑定士を入れて、2,043万円という価格を設定しています。土地は有償による譲渡か貸付のいずれかを選択してくださいとなっています。②は譲渡した場合はこの価格になりますよ。

③については、貸付の場合は、1㎡当たり230円ということになります。

【古海委員】

これは、どちらでも良いということですね。

【梨本市民G長】

応募のする事業者の選択ができるということで、買ってもし、借りてもよいということです。

【坂田委員】

施設整備にかかる諸条件で、施設開設後12年間は事業を継続することと、うたわられていますが、年数12年の意図の説明をお願いしたい。

【岡田(豊)会長】

12年の根拠は、多分木造の耐用年数と思いますが。

【梨本市民G長】

今回の建物については、建物の構造規模等の項目で、特に指定等はしていませんが、当初考えていたのは、木造でという部分がありましたので、木造の耐用年数が12年であることから、12年間事業を継続してくださいと載せてあります。

【坂田委員】

市として、木造の建物ということでしょうか。

【梨本市民G長】

募集案の時にはそういう考え方でしたが、今回の募集要項では、建物の構造は指定なしとなっていますので、木造でも鉄筋コンクリートでも、指定がないので、それは業者が整備を行うこととなります。開設後の継続年数について、木造の耐用年数を考えて12年間とさせていただいています。

【坂田委員】

中郷区内のいままで利用してきた人たちが、この辺が、こだわるところだと思います。年数については、12年間継続してくださいよということだけれど、それ以降について、区民の意見が反映されないのではないかという不安を持つと思います。

【梨本市民G長】

12年間は継続することが補助要件となっていますし、皆様方からいただいた、地域協議会要望の反映事項の7番で、定期的な意見交換会の場を設けることになっていますので、ご心配の12年経過後に廃止というのは、意見交換の中で、その先も継続

してもらいたいということで、話し合いができるものと思っています。

**【宮崎所長】**

補足させていただきます。最低限12年ということで、業者も何億円と投資するわけですから、12年でやめるわけがありません。最低限これだけやってくださいということで、載せてあります。12年につきましては、木造の耐震かどうかも今一度調べて、再度報告させていただきます。

**【坂田委員】**

私は、年数をはっきりと、うたってしまうと、危険だと思います。いつまでも、市の言うとおりにやりますとはならない。企業は利益を上げなければならないため、いつまでも淡い期待で、オブラートに包んだ形ではなくて、12年というものを見直すべきだと思います。お願いできませんか。

**【宮崎所長】**

その辺については、先ほど申し上げたとおり、12年の根拠を整理してからお応えしたいと思います。

**【岡田(豊)会長】**

民設民営ということで、所長からありましたように、何億円も投資するわけですから、それが12年後になった時には、民間事業者も引かないと思いますので、その辺のことも認知していただいて、十分に利益をとるように指導していただきたいと思います。7,500万円補助金を出すわけですから、単純に12年間で割ると6百何十万円、10年で割ると750万円ということで、市の持ち出しとしては、今の状況より特段に低くなりますね。そういうことも加味しながらお願いしたいと思います。

他に、いかがですか。

**【古海委員】**

募集要項4頁に、施設整備にかかる諸条件というところに、必須規模で、床面積が218.61㎡、平たく言うと66坪ですが、これは最低限の条件であって、これより大きくすることは構いませんよという意味でしょうか。

会長から話がありましたが、7,500万円補助すると、66坪で造ると補助金だけで全て出来てしまう補助の仕方が、100%補助の形になってしまうのではないかなと懸念がある。浴室何㎡と書いてあるので、ある程度プランニングはできていると思いますが、その辺はどうでしょうか。



最低限の条件としても小さすぎる気がします。

**【梨本市民G長】**

最低限の条件で、これ以上のものを造って下さいという事です。

**【古海委員】**

7, 500万円の補助金の率ですが、工事費がこれだけかかると想定して、その何割とたぶん出していると思うのですが。

**【宮崎所長】**

これにつきましては、例えば1億何千万円かかるのですが、民間の方が造ると、もう少し安くなるので、それで、7, 500万円にした。市は、必要最低限これだけは作って下さいということで、はじめた数字が、7, 500万円です。多分民間事業者の方は、これが最低限ですから、当然7, 500万円でなくて、もう少し上乗せをして造られると考えています。

そうしないと、プロポーザルの方も通らないと考えています。

**【竹内(靖)委員】**

7, 500万円は、いわゆる温浴施設にかかる部分を想定した7, 500万円ではないのですか。

**【宮崎所長】**

そうです。必要最低限です。

**【竹内(靖)委員】**

今の説明では、違う気がします。

最低限の温浴施設にかかる部分が、7, 500万円程度かかるということで。

**【梨本市民G長】**

温浴施設の部分を試算して、民間でやる場合には、75%位の部分でいいだろうということで、7, 500万円という補助額を出しました。

**【竹内(靖)委員】**

感想ですが、先ほど古海委員が言われた譲渡予定価格は安いのではないかとということですが、不動産鑑定価格なのでしょうが、ぱっと見、高いなと思いました。企業としては厳しい試算ではないかと思う。買うなら2, 000万円、借りて1㎡230円、年間150万円近くで、だいたい2, 000人位の入館として、入館料が600万円で事業を開設して12年間継続して採算をとっていくのか。力のある企業がきちっと

やっ行ってくれると、ありがたきいと思ひます。場合によつては、何年かして、だんだん条件がかわつてしまふよふな、たとえば、土地の貸し付け条件が減免されるとか、条件がかわつてくるよふな予感がするのですけど。2社の企業が説明会に応募してこられたといふことなので、いい形で結果ができればいいと思ふ。よほど企業としては、集客率を上げる作戦を練つていかないと採算をとれることは厳しいのかなと思ひました。あと、注意事項で「温泉が出なくなつたときは、市と受益者との間で、その取り扱いを協議することとします。」と書かれていますが、12年間といふとかなり先の話で、温泉も正直どういふ風な状態になるか心配もあるのですけど、いずれにしても、スタートした話なので、2社のどちらかによつてオープンされることを願つています。

**【岡田(豊)会長】**

いろいろ、ご意見や心配事項が出されていますけれど、今、竹内委員の言われた温泉権の問題については、中郷区として片付いていない部分がありますから、開設までにしっかりと、地元住民の方とけりをつけるよふにお願いしたいと思ひます。

ほかにいかがでしょうか。

高齢者支援課の八木課長とお会ひした時に、事業者が決まつた段階で、ぜひ、プランニングといふものを地域協議会にプレゼンをしてもらえませんかと話をしておきました。それは可能でしょうと、いふことなので、選定が終つて、その事業者が私たちらはこふうことで、プレゼンをしてもらえればありがたいと思ひています。

**【高橋副会長】**

温泉の取り扱いについては、詳しい内容、経緯がわかりませんので、事務所の方でチェックをしていただきたい。後々、地元住民と揉めることのないよふに願つています。

ここに書いてあるプレゼンについては、業者を選定するうでの市側のプレゼンを開催することだと思ひますが、地域のニーズを反映することを考えるならば、決定した後でも構わないので、地域に対して何らかのプレゼンをしてほしいと思ひます。出来てからでは遅いので、そこで何らかの要望等もプラスできる場合があるのではないかとの思ひも込めて、意見交換できる場を、是非、作つていただきたいと思ひています。

**【岡田(豊)会長】**

他にいかがでしょうか。

**【山崎委員】**

不勉強で申し訳ありませんが、新しく民設民営化で構築するけれども、収容人員のことについて書いてないがどうなのですか。収容人員はどれくらいを考えているのでしょうか。当時49年に構築されたのですが、当時総工事費7,500万円。それと同じ金額です。今の単価から言いますと、はたして住民のいろんな要望を含めて、それだけの金額でできるのかどうか。それだけでは上がらないだろうと思いますが、その意味も考えて、当然規模的に考えた場合に収容人員はだいたいどれくらいと。24年末で、だいたい22,000人くらいですか。利用客ね。そういったことも含めて、約1日50人位の勘定というような定数となったと思いますが、せっかく建てるのだから、よく考えてほしい。今、副会長からもありましたが、本当に住民のニーズに伝えていかれるような施設をこの際だから真剣に考えてほしい。補助金を出すのですからね。先に補助金の話が出ましたが、12年間は担保かなと思います。もし、分かったらお答えください。

**【梨本市民G長】**

現在、2万人から2万3千人の利用でございますので、更に割引等が入っていますので、実際には550円から600円で入られる方はそう多くはありません。業者が、事業計画書を出すわけですが、こちらで利益があるような形で試算しますので、それが12年間の27年度から38年度まで試算してどれくらい的人数を入れたら利益が出るかということで事業計画書を出すこととなりますので、市の方としては何人入れなさいということはどうもたってはないです。事業者がそれだけの人数が必要だという計画書で上がってくると思っています。

**【岡田(豊)会長】**

よろしいですか。他にいかがでしょうか。

なければ、報告事項はこれで打ち切りまして、次に協議事項ですね、自主審議事項について、協議をしたいと思えます。

また、4グループに分かれていただいて、討議をお願いしたいと思えます。現在、7時22分ですので、すでに1時間近くたっておりますが、できましたら、8時15分位まで討議をしていただいて、その後、全体の中で、報告をお願いしたいと思えます。

各グループは早めに意見書案文をまとめていただきたい。意見書案文につきましては、自分たちの狙うところをしっかりとポイントを絞って、事務局に意見書案文の作成協力をお願いしてください。よろしくお願ひしたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、場所の指示のほうを事務局からお願ひします。

**【城戸班長】**

空き家対策と防犯灯については、こちらの部屋で、高齢者サポートと二本木駅の活性化については、隣の第3会議室の方で、前回と同じようにお願ひします。

《 グループ協議 》

《 全体会再開 》

**【岡田(豊)会長】**

2名の委員さんがお仕事の関係で抜けられましたが、全員お揃いになりましたので、各グループから報告をお願ひしたいと思います。

最初にLEDから、

**【竹内(朗)委員】**

LEDの方は、意見書の案を作って、全員が揃うことがなかったので、個々に見ていただいて、意見を出してもらいました。内容としては、町内会の負担が少なくなる点、市が負担している電気料の方も削減になる点、地域活動支援事業は、地域の活性化に関する事業にしたいという点を盛り込んで、一応案を作りました。皆さんから見てもらい、これでいいんじゃないかというところまで来たのですが、ある方の意見をいただいて、もう少し強く踏み込んでもらっていいよということで、文書を見てもらい、今回その文書を皆さんで確認して、これでまとまりましたので、この文書の方を会が終わりましたら、会長と事務局にお渡ししたいと思います。

**【岡田(豊)会長】**

それじゃ、次の地域協議会で皆さんに見ていただいて、送るかどうか判断することになりますね。続いて、竹内さん。

**【竹内(靖)委員】**

空き家対策ですが、昨年度までの話し合いで、地域協議会の主管で町内会長経由のアンケート調査を行うことで、話が終わっていました。4月に入りまして、各町内会

長さんも交代されるということで、いよいよ、動きたいですが、地域協議会の名前でやるには、アンケート内容をもう一度、皆さんの意見を頂戴しながら精査しようと、個人情報の取り扱いですとか、まちづくり振興会のホームページに記載する宅建協会との情報の共有ですとか、もう1度細かいところを決めてから、正式なアンケートとして動きたい。ただ、協議会として、自主審議してアンケート調査を行いますということを、まず、前段として、4月来週早々に、町内会長連絡会議がごございますので、その席で、協議会の会長の方から自主審議事項である空き家対策に関するアンケート調査を行いたいので、協力をしていただきたいという、まず1報を入れていただきたい。次の連絡会議までにそのアンケート内容を今一度精査して、実際のアンケート調査を行うという動きにしたいと思いますので、その旨お願いしたいと思います。

**【岡田(豊)会長】**

町内会長連絡会の際に、地域協議会として、発言すればよいのね。

分かりました。

続いて、山内さん

**【山内委員】**

高齢者サポート体制ということで、支えあいマップという資料をいただいて、内容を見たんですけど、これだけでも細かい、いろいろなことが書かれていまして、難しい。わたしの方で、大雑把にA4、4枚にまとめて、皆さんに話をしてもらいました。社協でも、中郷区の中で、2町内でやっていると話がありました。4月22日に町内会長会議があるということで、それに向かって、こういう高齢者のサポート体制を支えあいマップを持って、これを町内会の会長さんに話をして、そこで、賛成や興味を持った町内会が出てくれば、その人たちに更に詳しい内容についてお伝えする。社協の方も22日に出る話をしていますので、現在やっているサポート体制とはどのような内容なのか説明してもらったほうがよいのではないかと。それで、手を挙げてもらうことで、1つでも2つでもあれば、その町内会を中心に進めていく。これは、1年で終わるわけではないので、順次、来年、再来年に向けて、ほかの町内会も賛同を得る形で、話をしていきたい。もう少し内容的に社協に確認させてもらって、できれば、22日に話を出したいと考えています。

**【岡田豊会長】**

端的に提案していただければよいかと思います。

次の会場も予定しているようですから、手短に。

それでは、活性化の方

**【高橋副会長】**

事実上、かなり突っ込んだ形で、市に対して意見書を出そうということで、意見案をまとめて、いろいろ協議した結果、中郷区総合事務所の方で動いていただけるということになりましたので、直接市のほうには、意見書として出さないことになりました。

その結果、事務所側の事務局を中心とした企画書というようなものを、作っていただきました。これに伴って、いろいろな方から集まっていただいて、一度組織の立ち上げに関する協議を行いました。その中では、単発の活性化協議会という組織を作るのではなく、将来的には、まちづくり振興会の中に吸収されるような想定のもとに、そこを核とした組織の立ち上げを図っていったほうが今後スムーズにいくんじゃないかということから、そのような方向でまとまっています。ただ、どのようなメンバーで、どういった形で組織するかというまでは、協議までは入っておりませんが、早々に入らなくてはいけません。大まかなスケジュールの方も、事務所のほうで作っていただいて、4月は組織を立ち上げるための協議を2回くらい行いたい。各種団体の呼び掛けも5月中旬までに行って、最終的には5月末にそういったメンバーに集まっていただき、6月くらいから組織としてしっかり立ち上げていきたいとスケジュール案が出てきている。このとおりに進むかどうかは別の話ですが、細かくチェックはしていきたいと思います。

その一環として、皆さんご承知かと思いますが、ワークショップをもう一度行いたい、言うことで、呼びかけをしております。今のところまだ、集まりが悪いようですので、皆さんからも、これからのいろんな意味での中郷をアピールしていく場として、ワークショップを行いますので、ぜひ一声かけて、大勢の方から来ていただくような対応をお願いしたいと思っています。このワークショップは、主催がまちづくりになっておりますが、声かけとしては市の方も中心となって進めさせていただいておりますので、そういった意味での集計、まとめなんかも、お願いするような形になると思いますので、行政側の方も協力をお願いしたいと思います。

いずれにしても、まちづくりの総会に出られる方もいらっしゃるかと思います。まちづくり振興会そのものが、NPO法人化云々という年度に入っております。

その中で、いままで行政が行ってきたイベントだけを消化するのではなく、新たな今後の中郷というまちづくりをどうしていくかというような、企画部門といいますか、そういった部門も新設していく形の中に、二本木駅を中心とした活性化協議会というようなものを盛り込んでいきたい。それがいずれは、いろんな地域、たとえば、ひばり荘が開業するにあたっての南部地区の活性化とかも含んでくると思います。そういったものに育っていけばいいなと考えております。まだまだ、スケジュールとしてはスタートしたばかりですので、しばらくの間は、当協議会のメンバーもいろんな審議には、顔を出して方向性がずれないような形のコントロール的立場で参加していきたいと思っています。

**【岡田(豊)会長】**

LED、空き家、高齢者、活性化それぞれのところから報告をいただきました。まだ、まとまっていないところもありますし、これから精査に入るところもあるということですが、よろしくお願ひしたいと思います。

その他皆さんのところからなければ、その他のほうに移りたいと思いますが、いかがでしょうか。

**【宮崎所長】**

4月28日締め切りの地域活動支援事業なのですが、今、事務局のほうに5件提出されています。28日締め切りですので、よろしくお願ひします。

**【岡田(豊)会長】**

まだ、予定されているところもあると思いますが、28日締め切りということで、中郷は追加募集したことはございませんので、帰られたらお願ひしたいと思います。

その他、皆さんございませんか。

**【小嶋次長】**

4月1日付の市役所企画政策課と行政改革推進課から、地域協議会委員さんへ「まちづくり市民意見交換会の開催について(ご案内)」という文書が配布されているかと思ひます。担当課のほうから一人でも多くの委員さんからお集まりいただきたい、ぜひ、機会があつたらお願ひしてくれという電話がありました。ご都合のつく日で結構ですので、近いところでは、清里コミュニティプラザ、市民プラザということになると思ひますが、都合をつけてご参加いただければということで、再度お願ひ申し上げます。よろしくお願ひします。

【岡田(豊)会長】

ほかに、事務局のほうはいいですか。

皆さんの方から何かございますか。

【山内委員】

老人クラブ連合会の役員が今年度から変わりました。ここで話をして良いか分かりませんが、総会が4月24日、このときに正式に決まるのですが、会長が江端の水嶋敏明さん、副会長は、金山の関健一さん、松崎の坂田厚子さん、会計が金山の沼木孝男さん、私と白石副会長が相談役ということになりました。その他、22日の時に課題となるような点の話をしたと思います。

【岡田(豊)会長】

ほかにありますか。それでは、本日の会議を終了したいと思います。

次回の会議は、前回の会議で決めたとおり、5月10日土曜日午後1時30分からは一とぴあ中郷で行います。先ほど5件という話がありましたが、応募された皆さんからのプレゼンを受けることになりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、本日の会議を終了したいと思います。お疲れ様でした。

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 4 - 2 4 1 1

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。